



輸送
部門

日本郵便メンテナンス(株)から 一次回答が示される!

本部は、21 春闘要求書の提出以降、日本郵便メンテナンスと交渉を展開し、「働きやすい環境づくり関連」「政策・制度関連」について、安全、安心して働ける職場環境の改善や事業の持続性を確保するための対策等、会社の考え方を示すよう強く求めた。

1. コロナ禍における労働条件等の環境整備

- 本部は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあるなか、社員が安心して業務に従事できるよう、引き続き労働条件や感染防止に向けた環境整備等の対策を講じていくよう主張した。
- 会社は、社員の健康と安全確保の観点から様々な対策を講じており、今後も、新型コロナウイルス感染症防止対策等を継続して実施していく必要があると考えており、行政からの要請等をふまえ、適時適切に対応していく考えを示した。

2. 特別休暇を年間5日間付与

- 本部は、年間休日数が主要4社と比して少なく、ワーク・ライフ・バランスの観点から休日数の拡大が必要であり、特別休暇を付与するよう主張した。
- 会社は、社員の労働意欲を高める効果もあるが、コストとして経営に影響することから、年間5日付与の要求に応じることは困難との考えを示している。

3. 労働力確保対策

- 本部は、社員の高齢化が進んでおり、将来の労働力不足に備え、正社員の採用等を行い、今後も労働力確保に向けた対応を行うよう主張した。
- 会社は、安定経営のためには、労働力の確保が重要な経営課題であり、従来から人材確保に努めてきているところで、学校訪問を積極的に行い、本年4月には18名の新規採用者を見込んでいる。今後も募集方法の工夫や活動の強化等を通して人材確保に向け、積極的に取り組んでいく考

(次のページに続きます ⇒)

えを示した。

4. 社宅制度を拡充

- 本部は、労働力確保の観点から、社宅制度を拡充させ魅力ある福利厚生
の改善を行うよう主張した。
- 会社は、人材の確保と定着、社員のモチベーション向上等を考慮し、社
宅使用料の本人負担を軽減する等の改正について実施する考えを示した。

5. 職場環境を改善

- (1) 老朽化した整備工場の建替え修繕等を早期に行う
 - (2) 建屋内の整備スペースの不足により、検査場スペースで整備作業を行う場合
があり整備スペースの拡張をすること
 - (3) 寒冷地でも建屋の外で整備を行う場合があり、防寒対策として暖房器具を配
備すること
- 本部は、職場環境について会社はこれまでも対応を行ってきているが、
未だ立地や設備の状況等により非効率な作業環境となっている事業所が
ある。生産性向上や社員のモチベーションの観点から職場実態をふまえ
た改善を強く主張した。
 - 会社は、従来から貴組合と意思疎通をはかりつつ、その維持・改善に努
めて来ており、引き続き社員が働きやすい職場環境の整備に努めていく
考えを示した。

会社は、要求項目に対し一定程度前向きな回答をしめしているが、取り巻く
経営環境の厳しさから、財源に支出を多く要する要求項目の回答については
難色を示しており、更に前進回答を引出すよう、交渉を強化していく。

つながる！ JP労組

お友だち登録キャンペーン実施中

JP労組 LINE 公式アカウントを開設！
春闘情報などの最新情報をお知らせして
います！ぜひお友だち登録を！



(担当：田中)